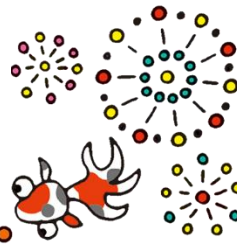




8月ほけんだより



令和4年8月1日発行
新川崎みらいのそら保育

本格的な夏がやってきました。たくさん汗をかき体力を消耗し、食欲も落ちやすい季節です。たくさん食べてしっかりと休息をとりましょう。また、様々な感染症が流行しています。引き続き感染対策を行いながら、体調の変化に十分気をつけて夏の楽しい思い出をつくりましょう。

夏の肌トラブル

蚊

に刺されたとき

大人が蚊に刺されるとすぐに腫れ、じきに治まります。ところが小さな子どもは刺されてしばらく経ってから驚くほど大きく腫れ、水ぶくれができることもあります。かき壊さないように、早めに手当てしましょう。

ケア

① 刺されたところを水で洗い流します。



② かゆみ止めを塗ったり、濡らしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりしてかゆみをやわらげます。



汗を分泌するところに汗やほこりなどがつまって炎症が起こった状態です。汗をかきやすい部位に赤い小さなポツポツができて、かゆくなります。

ケア

① シャワーなどで汗をよく洗い流します。外出先などでは汗の成分が皮膚に残らないように、濡らしたタオルで汗を拭き取りましょう。

予防

汗をよく吸い取る面の肌着やシャツを着せましょう。



あせも

ができたとき

とびひ

ができたとき

皮膚をかきむしって傷ができたところに、細菌が感染してジクジクした湿疹（とびひ）ができます。とびひは感染力が強いうえに、ひどくかゆいためかいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。


ケア

① シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がる、周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。



登園目安


皮疹が乾燥していること、または外用薬で処置し浸出液がしみ出ないようにガーゼ等で覆っていること。



夏のお出かけ

ご家族で旅行やレジャーに出かける機会の多いこの季節。子どもたちの体調には十分に気を配りたいものです。子どもたちは、大人以上に休養が必要です。ゆとりのあるスケジュールを立てるようにしましょう。

また、この時期「車の中に子どもを放置する」ことによる事故が多くみられます。たとえ2～3分であっても、絶対にしないようにしてください。今年も熱中症対策、感染症対策を行い、体調に留意しながらお出かけしましょう。



7月の報告

今月は発熱や呼吸器症状で欠席する子どもが非常に多くいました。流行性感染症は **RSウイルス8名**、**ヒトメタニューモウイルス3名**、**新型コロナウイルス** が発生しています。また、幸区内ではその他手足口病やヘルパンギーナも流行していました。

- 8日：身体測定1, 2歳児
- 11日：身体測定3-5歳児
職員研修「心肺蘇生法」
- 13日：三者連携集会(幼児)「熱中症予防」
- 15日：身体測定0歳児
- 26日：園医健診(4・5・6月末実施者)



8月の予定

- 5日：身体測定1, 2歳児
- 8日：身体測定3-5歳児
- 9日：園医健診0歳児
- 23日：園医健診0, 1歳児



～流行性感染症のお知らせについて～

今後流行性感染症の発生時は、感染症拡大防止のために**クラス名を記載**して掲示板でお知らせいたします。なお、人権尊重と個人情報保護のご理解とご配慮をお願いいたします。